

6/4~9/25 企画展「村上もとか展」プレスリリース

デビュー50周年記念

村上もとか展

あの感動を、もう一度！！

原画総計、

約 300 点！

(展示替えを含みます)

【前期：6/4~7/31、後期：8/2~9/25】

弥生美術館
Yayoi Museum

デビュー50周年記念 村上もとか展

「JIN—仁—」、「龍—RON—」、僕は時代と人を描いてきた。

2022年6月4日(土)～9月25日(日)

村上もとか、50年の画業を辿る——！

村上もとか(1951-)のデビュー50周年を記念し、半世紀の軌跡をたどります。幕末医療ロマン「JIN—仁—」、「**侠医冬馬**」、日中近代史を壮大なスケールで描いた「**龍—RON—**」を中心に、F1(「**赤いペガサス**」)、剣道(「**六三四の剣**」)、クライミング(「**岳人列伝**」)、少女マンガ史(「**フィチン再見!**」)等、様々なジャンルに挑み続ける実力派マンガ家の全貌に迫ります。

本展に際しては村上もとかに密着取材を試みました。本人セレクトによる名場面集、制作の裏側に迫った作品解説等、記念イヤーならではのトピックスが満載です。

TRY! TRY! TRY!

知らない。できない。だからこそ、描く!

立ち止まることなく、限界を知らない作家——さまざまなジャンルにTRYしてきた村上。

圧倒的な画力と表現力で〈自分の物語〉を生み出すことに心を燃やし続けた50年間の軌跡が今ここに集結します。



①「赤いペガサス」『週刊少年サンデー』
1978年12号原画
©村上もとか／小学館

POINT

★当時のヤング世代にF1の魅力を知らしめた作品。実在のレーサーも登場。

★走れるタイヤを描く!

緻密な書き込みとダイナミックな線の魔力をご覧ください。

F1漫画の金字塔

「赤いペガサス」



臨場感あふれる大迫力の原画を多数展示

②「赤いペガサス」『週刊少年サンデー』1979年7号原画 ©村上もとか／小学館

剣道ブームの立役者 剣に懸けた永遠の青春

■お知らせ■ 「六三四の剣」



④



『六三四の剣』24巻
カバー原画 1985年
©村上もとか／小学館

⑤



『六三四の剣』8巻カバー原画
1983年 ©村上もとか／小学館

POINT

- ★多くの少年少女を剣の道へ導いた作品
- ★型破りな擬音と集中線が繰り広げる、
圧巻の剣道シーン
- ★主人公の成長と感動の人間模様

6月3日午後4時に、剣道家夫妻の間に生まれた夏木六三四の剣氏としての奮闘と成長を描く。誕生から小学校卒業までを少年編、高校時代を青春編とし、『週刊少年サンデー』に1981～1985年連載。テレビアニメ化もされ、剣道ブームを巻き起こした。当時の村上が、王道の少年マンガを描きたいと思い描き上げた作品。スポーツとしてではなく、武道としての剣道を描き切った。

③「六三四の剣」『週刊少年サンデー』
1981年28号原画
©村上もとか／小学館

ドラマ化もされた 大ヒット幕末医療マンガ

「JIN—仁—」



⑥『JIN—仁—』
20巻カバー原画
2011年
©村上もとか／集英社



⑦「JIN—仁—」『スーパージャンプ』
2009年21号表紙原画
©村上もとか／集英社



⑧「JIN—仁—」『スーパージャンプ』
2000年19号 ©村上もとか／集英社

新型コロナウイルスと格闘してきた日々、
励ましてくれたのは、
「JIN—仁—」の物語でした。
今を生きるわれわれの奮闘が、
未来に繋がってゆくのだからー。
もう一度、かみしめたい物語。

連載16年の日中大河ロマン

「龍—RON—」



⑨『龍—RON—』文庫21巻カバー原画
2009年 ©村上もとか／小学館

連載中 「侠医冬馬」



⑩『侠医冬馬』
4巻カバー原画 2021年
©村上もとか／集英社



⑪「侠医冬馬」『グランドジャンプ』
2020年14号 ©村上もとか／集英社

2018年に連載開始。まるでパンデミックを予見したかのような、時代とシンクロする幕末医療新作。主人公は幕末の大阪で医術を学ぶ・松崎冬馬。150年前、日本人はすでに感染症と闘っていた。タイムスリップという「魔球」を使わずに、幕末の医師たちの奮闘を、村上がストレートに描く！コロナ禍での、村上の再決意につながる意欲作。

展覧会の見どころ

- ★大迫力の生原稿を間近でご覧いただけます。
- ★作者本人セレクトの名場面集
- ★作者本人による作品解説多数
- ★会場内は全作品撮影OK!!
- ★本人出演のインスタライブ・YouTube動画も、会場内で視聴できます

※会場内はwi-fi環境ではありません。

村上もとか

Motoka Murakami



⑫村上もとか近影

村上もとか プロフィール

1951年東京都世田谷区生まれ。
高校卒業後、望月あきら(「サインはVI」)のアシスタントをつとめた後、手塚治虫主宰の伝説的マンガ雑誌『COM』に作品を投稿(佳作入選)。

1972年、21歳の時に『週刊少年ジャンプ』でデビューする。デビューから数年間は「タイヤもの」を描いて圧倒的な画力を評価されたが、幕末医療ドラマ、クライミング、剣道、ボクシング、日中近代史、歌舞伎、少女マンガ史等々、様々なジャンルの作品を描き、実力派マンガ家として活躍し続けている。

第15回手塚治虫文化賞漫画大賞など、マンガ賞を多数受賞。

2022年にデビュー50周年を迎える。

また、マンガ家仲間と「株式会社ぼけまん」を結成、代表をつとめる。チャリティーオークションを開催するなど、マンガを通じての社会貢献にも力を注ぐ。

【撮影】大崎愛

コラボドリンク

「村上もとか展」限定メニュー



併設のカフェ「港や」にて発売中！
ICE/800円
HOT/750円(各税込)
剣道の面の形をした
最中付き！

新刊刊好評発売中

『村上もとか』

村上もとか著／
弥生美術館編
河出書房新社
1,991円(税込)
「こち亀」秋本治氏との
BIG対談も収録



村上もとか先生のYoutube 動画配信中！

美術館公式チャンネルにて、先生ご出演のインタビュー動画を配信しています。

[弥生美術館・竹久夢二美術館 - YouTube](#)

今後、来館者からの質問にもお答えいただくオンラインイベントも開催予定です。

■開催要項■

展覧会名称	デビュー50周年記念 村上もとか展 「JIN—仁—」、「龍—RON—」、僕は時代と人を描いてきた。
会期	2022年6月4日(土)～9月25日(日)
休館日	毎週月曜 ＊7月18日(月・祝)、9月19日(月・祝)開館。7月19日、9月20日休館。
開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで) ★夜間開館始めました!!★ 会期中、毎週金曜日は20時まで、夜間開館いたします。(入館は19:30まで)
会場	弥生美術館 1階～2階
同時開催	竹久夢二美術館 「夢二好みの君が行く! 夢二式美人のひみつ」
入館料	一般 1000円 大高生 900円 中小生 500円 ＊竹久夢二美術館と併せての料金。
住所	弥生美術館 〒113-0032 文京区弥生 2-4-3 TEL: 03(3812)0012 FAX: 03(3812)0699
交通	東京メトロ千代田線〈根津駅〉1番出口／南北線〈東大前駅〉1番出口よりいずれも徒歩7分 JR上野駅 公園口より 徒歩20分
HPアドレス	https://www.yayoi-yumeji.museum.jp

この展覧会についてのお問い合わせは

弥生美術館 学芸員 内田静枝 までお願いします。 TEL: 03-3812-0012 FAX: 03-3812-0699

デビュー50周年記念「村上もとか展」

画像使用申込書

画像送付日 月 日 必着

掲載誌（紙）／放送予定番組名	
発売／放送予定日	
会社名・所属／ご担当者名	
ご住所 〒	
E-mail	
TEL	FAX
通信欄	

■**図版番号** ご希望の図版を ○印で囲んでください。（図版番号はプレスリリース参照）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

＊デジタルデータの二次利用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い申し上げます。

プレスリリース掲載の図版について、メールで画像データをお送りします。
ご希望の場合はこの申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。
弥生美術館写真（外観／展示室）等、他に必要とする資料がございましたらご連絡ください。

著作権は村上もとかと、小学館、集英社が有しますが、本紙掲載画像を展覧会広報の用途で使用する
場合に限り、使用許可を得ています。図版使用の際にはクレジットを必ず入れてください。

■**読者プレゼント招待券（5組10名）**

希望する 希望しない

■**掲載誌（紙）ご送付のお願い**

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、掲載誌（紙）をお送り下さいますようお願い申し上げます。

【送り先】〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-3 弥生美術館 担当 内田